

Web 版付録3 R コマンダーの起動と終了（改訂版）

〈各 OS 共通〉

【初版からの変更点】R コマンダーが、必要なオプション・パッケージを起動時にインターネット経由で読み込むようになりました。インターネットに接続しない状態で R コマンダーの起動操作を行うと、“必要なファイルがない”という警告メッセージが出て起動しないことがあります。そこで、インターネットに接続した状態で R コマンダーの起動操作を行うように修正をしました。

本書で使用する R コマンダーの起動方法と終了方法を説明します。R コマンダーは R というソフトウェアのオプション・パッケージなので、R の起動と終了の作業が伴います。

また、Windows 8.1 をご使用の方については、コンピュータが次の環境にあることを前提にしています。

- キーボード入力ができること（タッチキーボード機能による入力を含む）
- タッチパッドやマウスによるクリック操作ができること

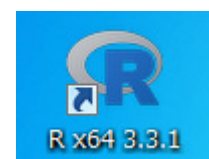
【注意】Windows 8.1 のタッチパネル機能だけでは、R と R コマンダーの操作はできません。

【注意】

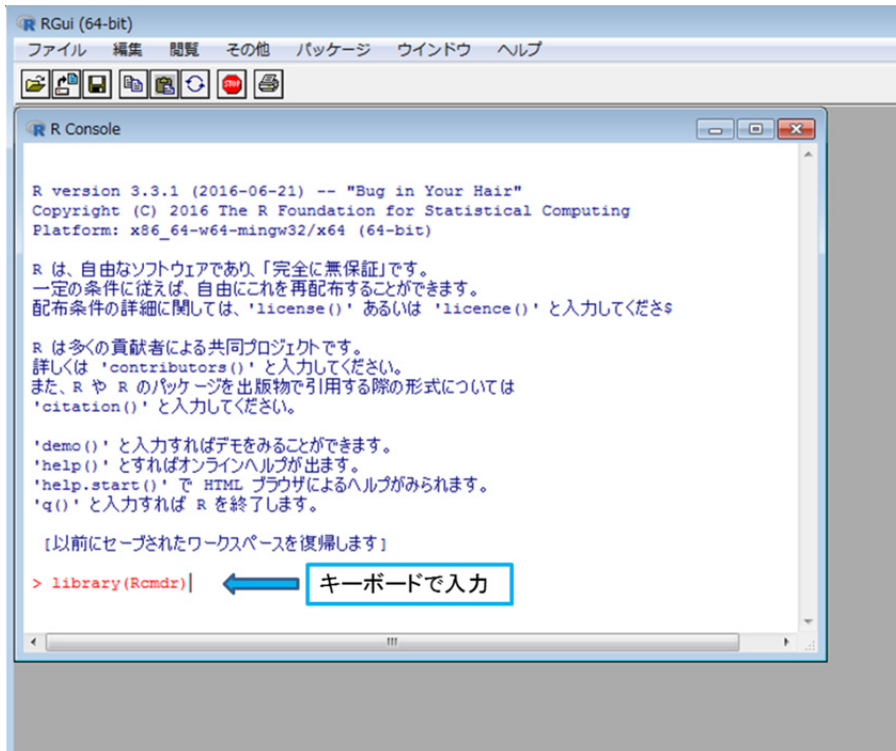
- 以下の説明では、64 ビット版の R に R コマンダーのパッケージをインストールしたことを前提にします。32 ビット版の R に R コマンダーのパッケージをインストールした方は、R を起動するアイコンが異なるだけです。
- 2015 年頃から、R コマンダーは、必要なオプション・パッケージを起動時にインターネット経由で読み込むようになりました。R コマンダーの起動は、インターネットに接続した状態のまま行ってください。接続していない状態で起動操作を行うと、“必要なパッケージがない”という警告メッセージが出て起動しないことがあります。

R コマンダーの起動方法

- Windows 7 または Vista をお使いの方は、手順 2 へ進んでください。Windows 8.1 をお使いの方は、“スタート”画面で「デスクトップ」のタイルをクリックし、デスクトップ画面を表示してください。
- デスクトップ上に作られた右図の R x64 3.3.1 のアイコンをダブルクリックし、まず R を起動します。操作説明図 C-1 のウィンドウが開きます。外枠に R Gui というウィンドウがあり、中に R Console というウィンドウがあります。



操作説明図 C-1

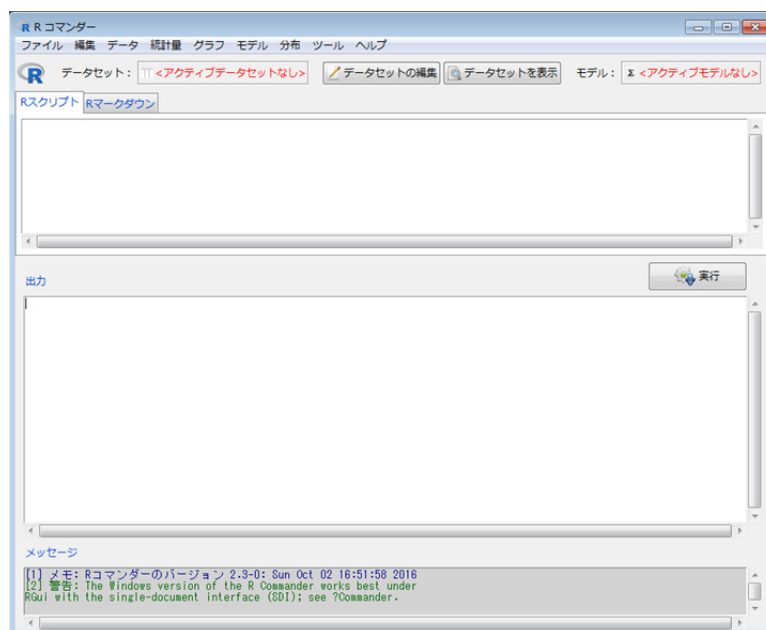


3. 内側の R Console のウィンドウの末尾に、> という印が赤で表示されています。この印の隣にマウスをあわせてクリックし、文字が入力できるようにします。

library(Rcmdr)

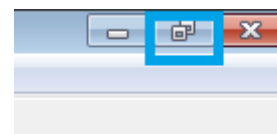
とキーボードで入力して、 キーを押してください。R コマnderが起動して、操作説明図 C-2 のウィンドウが開きます。

操作説明図 C-2



操作説明図 C-3

【注意】 Rgui のウィンドウがディスプレイ一杯に広がっていると、R コマンドーのウィンドウが隠れてしまいます。このようなときは、操作説明図 C-3 のように Rgui のウィンドウの右上にある□印が重なったマークをクリックして、Rgui のウィンドウを小さくしてください。



【参考】 R コマンドーの起動で“library(Rcmdr)” とキーボード入力をするのは最初の 1 回だけです。次の終了方法の説明にしたがって R コマンドーの終了を行えば、2 回目からは矢印キーだけで操作が済みます。

R コマンドーの終了方法は、次の通りです。

R コマンドーの終了方法

1. 本書では、R コマンドーで図をたくさん描きながら学習を進めます。図を描いた状態のまま R コマンドーを終了するときは、以下の操作を続けてください。図が描かれたウィンドウがすべて閉じた状態で R コマンドーを終了するときは、手順 2 へ進んでください。

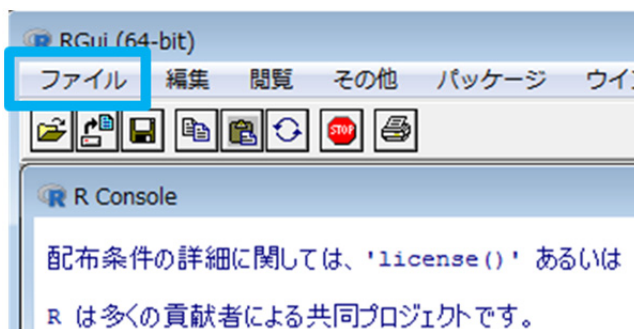
図は“R Graphics:”というウィンドウ内に描かれます。図が描かれた状態で操作説明図 C-4 の R Gui のウィンドウ左上の「ファイル」をクリックすると、

デバイスを閉じる

という選択肢が出ます。これをクリックして“R Graphics:”のウィンドウを閉じます。

2. 操作説明図 C-4 の R Gui のウィンドウで、左上にある「ファイル」をクリックし、表示される選択肢の中から「終了」を選びます。

操作説明図 C-4

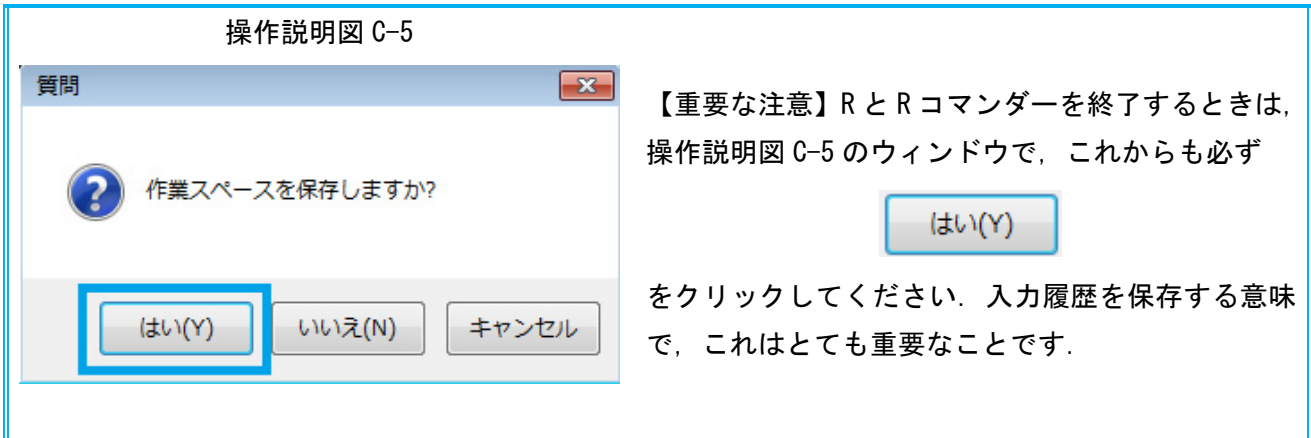


3. 操作説明図 C-5 の“質問”というウィンドウが開き、

作業スペースを保存しますか？

とたずねてきます。必ず はい(Y) をクリックしてください。すると、R コマンドーと R の両方のウィンドウが閉じて終了します。

操作説明図 C-5



操作説明図 C-5 のウィンドウで **はい(Y)** を選んで終了すると、学習中に R コマンダーへ取り込んだデータや入力内容が、R や R コマンダーの中に保存された状態で終了します。したがって、例えば 3 日後に学習を再開しようとして R コマンダーを起動したとき、3 日前に取り込んだデータや入力した内容がすぐに再利用できます。

操作説明図 C-5 のウィンドウで **いいえ(N)** を選んでしまうと、その日の学習中に R コマンダーへ取り込んだデータや入力した内容が保存されずに終了します。そのため、後日学習を再開するときに、データの取り込み作業を改めて行うことになります。これはとても面倒なことです。操作説明図 C-5 のウィンドウでは、必ず **はい(Y)** をクリックしましょう。

R コマンダーを終了するときに操作説明図 C-5 のウィンドウで **はい(Y)** をクリックしておくと、R コマンダーの再起動も簡単になります。

R コマンダーの再起動方法

1. デスクトップ上に作られた R 3.3.1 のアイコンをダブルクリックして R を起動します。Rgui と R Console のウィンドウが開きます。
2. 内側にある R Console のウィンドウ上の適当な場所を選んで、マウスでクリックします。R Console のウィンドウがアクティブ・ウィンドウになります。
3. 上向き矢印キー **↑** を押すと、これまでに入力した内容が順次さかのぼって R Console のウィンドウ上に再表示されます。前回の起動で使用した

```
library(Rcmdr)
```

を操作説明図 C-6 のように再表示させて、**Enter** キーを押します。R コマンダーが再起動します。このようにして、キーボード入力をしないで起動をすることができます。

操作説明図 C-6

